

病院だより



「栄養サポートチーム」について

“しわ・しみ”も治してみませんか

Hiromichi Yamada

山田 裕道

外来B部門のご紹介

Takako Sasaki

佐々木貴子

国際親善総合病院

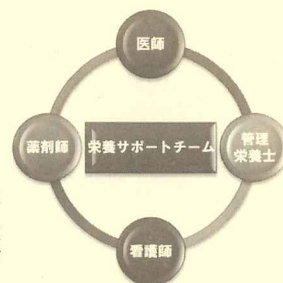
URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (庶務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



「栄養サポートチーム」について



入院されている患者さんの中には、病気などにより食事の摂取が充分でないなどの原因により、特に栄養状態が低下している又は、栄養状態低下のリスクが高い患者さんがいらっしやいます。

当院では、栄養サポートチーム（医師・管理栄養士・看護師・薬剤師各1名）を編成し、そのような患者さんの栄養状態改善に向けて、主治医と連携の上、サポートをする取り組みを行っています。なお、介入にあたっては、※厚生労働省からの対象基準があり、該当する方が対象となります。（※下記参照）

＜活動内容＞

対象患者さんの病歴、病態、身体測定、栄養摂取状況（輸液・経腸栄養・食事）などを調査し、栄養治療実施計画を作成します。1週間に1度、訪問させていただき、主治医に治療方針の確認を行いながら、栄養状態改善に向けての検討や提案を行います。

対象の患者さんやご家族には、栄養サポート開始時又は、終了・退院時には栄養治療実施計画書、栄養治療実施報告書を用いて専従者の管理栄養士より説明を行います。終了・退院時には、栄養状態維持・改善に向け、今後の栄養摂取方法や栄養管理の留意点などをお伝えいたします。



※厚生労働省からの対象基準：対象は入院されている方で、いずれか該当することが条件となります。

- ・ 栄養管理実施加算に係る栄養スクリーニングの結果、血中アルブミン値が 3.0g/dl 以下であって、栄養障害を有すると判定された患者
- ・ 経口摂取または経腸栄養への移行を目的として、現に静脈栄養法を実施している患者
- ・ 経口摂取への移行を目的として現に経腸栄養法を実施している患者
- ・ 栄養サポートチームが、栄養治療により改善が見込めると判断した患者

栄養サポートチーム

＝病院で＝

“しわ・しみ”も治してみませんか

主婦湿疹やじんましんの治療がすんだ30～40歳代の女性の方で「実はしみが気になっているのですが」という患者さんがいらっしゃいます。またしみ・小じわの治療中の患者さんの中には振り返ってみて「病院でしみやしわの相談をしてはいけなかったかと思っていました。」あるいは「この病院でしみ・しわの治療をしてもらえるとは思ってもみませんでした。」という声もききます。

国際親善総合病院皮膚科外来では以下の薬剤・治療にて美容皮膚科も行っています。

M E N U

① ビタミンCローション

しみ、しわに改善効果があります。

② ハイドロキノン軟膏

しみ、くすみに効果があります。

③ トレチノインクリーム

しみ・小じわに効果があります

④ ケミカルピーリング

しみ、しわの改善効果のほかにきびの治療にもなります。

⑤ しみのレーザー治療

ロングパルスアレキサンドライトレーザーを用いてメラニンを壊すことによりしみを薄くし、消していきます。

⑥ レーザーフェイシャル

しみの治療よりも低い出力でレーザー光線を顔全体に照射します。くすみ、小じわ、毛孔の引き締め、皮膚のはり・つやの改善効果があります。

⑦ しわの注射治療

当院より紹介する施設においてしわを目立たなくする注射(ボトックス、ヒアルロン酸)治療を受けることもできます。



主婦の皆さん、どうぞ遠慮なくご相談ください。初めての方はなるべくかかりつけ医(お近くの開業医)の先生からの紹介状をご持参ください。

皮膚科部長 山田 裕道

このテーマは

平成24年3月9日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

外来B部門のご紹介

(救急外来・内視鏡・放射線科)

当院の地下1階フロアーにある当部署は、救急外来と検査部門の内視鏡室、放射線科の看護を担当しています。

救急外来は、1分1秒をあらそう重症の患者さんから軽症の患者さんまで内科疾患、外科疾患を問わず、安全で親切的な医療を24時間体制で提供しています。当院の救急外来には、日本看護協会の認定審査に合格した「救急看護認定看護師」が1名勤務しており、院内だけでなく地域の住民の方々への救急看護に関する指導などを行っています。その他のスタッフも1次救命処置に関する技術習得や災害に関する看護など、自主的に学習の場を設定し取り組んでいます。



大切にしているのは「親身な対応」です。接遇の学習会を行い患者さんやその家族の不安を軽減し、気持ちよく診療が受けられることを常に心がけています。地域の方々に「国際親善総合病院に行けば大丈夫！」という安心感を持っていただけるよう日々努力しています。

検査部門の内視鏡室では胃や大腸カメラの検査を行っています。放射線科では頭から足先までの血管病変の検索、心筋梗塞への経皮的冠状動脈形成術など救命に関与する緊急カテーテル検査を医師、診療放射線技師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士も加わり力を合わせて迅速に行っています。

患者さんが安心して検査、治療が受けられるようスタッフ全員心をこめて対応していきますので、よろしくお願いいたします。

救急外来受診について

救急外来には、24時間365日救急外来専門の看護師がおります。受診の際には、まずお電話いただければ症状にあった対応の仕方や受診方法の説明をいたしますので遠慮なくお電話ください。また、受診の際にまず看護師がお伺いしたうえで（トリアージ）症状の重い方や緊急に処置が必要な方を最優先させていただきます。そのため状況によって待ち時間が長くなる場合もあります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



外来B看護課長 佐々木 貴子